

第3次宗像市コミュニティ基本構想・基本計画

基本計画 骨子案

基本理念	項目	内容	手法・検討事項
① 根を確かめる ～基本の考えに立ち返る			
(1)	「協働」「コミュニティ」を確かめる	●市民参画条例の理念の学び直し ●コミュニティ施策の理念の再確認 ●「行政の役割」「地域の役割」の再認識	・研修会等でのコミュニティ関係者への理解促進 ・行政職員への教育の徹底
(2)	コミュニティの“よさ”を発信する	●住民への多様な情報発信	・啓発ツールの刷新と住民周知 ・各広報紙の充実、SNSの活用
(3)	地域の目指す姿を考える	●地区の将来像の語り直し	・地区内での対話の場の設定（まちづくり計画の改定・見直し）
② 幹を知る ～地域の実態、人の変化を捉え、「できること」「すべきこと」を整理する			
(1)	住民同士が互いを理解する	●社会状況や住民の価値観の変化への理解	・年代ごとの価値観への相互理解 ・住民同士の対話機会の創出
(2)	地域を分析、把握する	●住民意見・ニーズの把握 ●地域の強み(特色)・弱み(課題)の再確認 ●地域と協働すべき行政課題の精査	・アンケート等による意見やニーズの収集 ・ワークショップによる対話型地域分析 ・地域の実態を集約した“地域カルテ”の作成 ・行政職員のコミュニティに対する現状理解
(3)	「できること」「すべきこと」「やりたいこと」を整理する	●既存事業の取捨選択 ●ニーズを踏まえた事業検討 ●行政と地域の役割に合わせた事業精査	・地区の全事業一覧の作成 ・アンケートや地域カルテに基づく事業検討 ・協働委託の検証 ・対話型まちづくり懇談会の検討
③ 枝・葉を整える ～より長く、親しみやすく育つために“幹”にあった組織や事業の見直し			
(1)	担いやすい組織を考える	●協議会・自治会の役割の整理 ●協議会内の役割分担の見直し ●自治会組織の運営の見直し ●多様な住民が関わることができる組織への転換	・事務局長の職務と処遇の再検討 ・部会の再編や事務局との役割分担の検討 ・自治会研修会の充実 ・デジタル技術を活用した効率化・多様性への対応
(2)	仲間を増やす、高め合う	●新たな人材の発掘 ●学び合いによるスキルアップ	・地域参画のきっかけ、動機づけ支援 ・テーマ別研修等の充実
(3)	地域以外にも仲間をつくり、「できること」を増やす	●多様な主体（他地区、学校、企業、市民活動団体etc）との連携・協働	・連携相手の情報の集約と共有 ・団体交流会等のマッチングの場の設定 ・地区担当職員のコーディネート能力の向上
(4)	「すべきこと」「やりたいこと」を実践する	●多様な住民の共感を呼ぶ事業展開 ●事業規模の適正化、効果的な事業展開 ●地区の特色を活かした取り組みの強化	・他地区、他自治体の先行事例の共有 ・事業のPDCAの見える化 ・まちづくり交付金の活用方法と制度の見直し ・地域の実情に応じた活動拠点のあり方の検討
④ 実をつけ、種を蒔く ～多様な住民の参画から次世代の育成へ			
(1)	多様な住民が永く関わる	●誰もが気軽に関われる体制づくり	・人材登録制度やサポーター制度等の検討（デジタル技術の活用）
(2)	次の仲間とつながる、育てる	●次の担い手となる人材の確保 ●コミュニティへの愛着の醸成	・新たな人材の企画立案機会の創出 ・コミュニティ・スクールでの次世代育成